



◆病院のかかり方を見直してみましょう！

高齢化や生活習慣病など慢性疾患の増加などの理由で、医療費は年々増加しています。このまま増え続けると、家計を圧迫するばかりでなく、安定した保健医療の確保も危ぶまれます。

医療費は皆様からの保険税でまかなわれています。医療費を無駄にしないために、病院にかかる前には次のようなことに心がけ、受診しましょう。



～上手なお医者さんへのかかり方～



①『重複受診（はしご受診）』をやめましょう

同じ病気で複数の病院にかかることを『重複受診』といいます。安易な理由で受診病院を変えると、『初診料』を再度支払ったり、すでに受けた検査も繰り返したりすることにもなります。また、同じ薬を処方される可能性もありますので医療費の無駄になってしまいます。

→重複受診はなるべく避けて、気になることは医師に相談するか、どうしても受診病院を変えたいときは、紹介状を病院に書いてもらいましょう。

②『ジェネリック医薬品』を利用しましょう

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、特許期間が過ぎた新薬（先発医薬品）と同じ成分をもった低価格な処方薬です。新薬と比べ安価で（新薬の開発にかかる研究開発費相当分が抑えられるため）、医療費の節約に役立ちます。

→ジェネリック医薬品を希望する場合は、診察を受ける医師や調剤をしてもらう薬剤師に相談しましょう。
※すべての新薬にジェネリック医薬品があるわけではないので、変更できないこともあります。

③薬のもらい方を見直しましょう

「たくさん薬をもらわないと不安」という人がいますが、医師の診察と処方を信頼してむやみに欲しがらないようにしましょう。

→医師に頼んで薬をたくさん処方してもらったけれど、使いきれずに余っているという場合は、医師や薬剤師に相談しましょう。

大崎町の医療費

区分	診療年月	国民健康保険		
		一般分	退職者分	合計
被保険者数	平成23年6月	4,736人	305人	5,041人
	平成22年6月	4,935人	259人	5,194人
医療費総額	平成23年6月	139,184,265円	8,523,209円	147,707,474円
	平成22年6月	148,345,850円	7,506,465円	155,852,315円

区分	診療年月	一般被保険者分	退職被保険者分	全被保険者分
一人当たり医療費	平成23年6月	29,389円	27,945円	29,301円
	平成22年6月	30,060円	28,982円	30,006円